Skeptischer Gedanken

福　井　玉　夫

學問は道樂なり？ いつぞやある大學を卒業したてのまだ尻に卵殼のくつゝいてゐる理學士が來た時に，色々の話の末に（學問は道樂だね） と云ふ私の考を申したところ，その男は少し色をなしてそれは云ひ過でしやうと云つた。けれども私の「學問は道樂なり」と云ふ考は其後少しも變らない。 道樂と云ふのは一體何かと云ふ事になるが，私はこう考へて居る。即ち「面白くてたまらないから夢中になつてやる事と思ふ。 それをやつて名譽を得やうとか金をもうけやうとか， よい位置にありつかうとか云ふやうな所謂野心は毛頭なく損得を離れて樂しむ所に其眞意があると思ふのである。 さて飜つて學問を考へて見ると何をやるにしても面白くてたまらず 夢中になつてやると云ふ所に學問の本當の姿が見られるのではないかと思はれる。 して見ると學問は道樂なりと斷定しても少しも差支ない。 否差支ないのみならず，かやうな態度で學問をする事をむしろ奬勵すべきではないであらうか。 本誌の讀者諸君の多數の方は蜘蛛に興味を有して居られ，又それの所謂科學的研究に沒頭して居られる方々であらう。 が考へて見ると蜘蛛を研究してどんな名譽が與へられるであらうか， 又蜘蛛を研究したからと云つてよい位置が與へられるであらうか，或は又蜘蛛を研究して巨萬の富を得る事が出來るだらうか。 こんな事はおそらく考へて見た事もないであらうと推察する。 して見ると蜘蛛の研究は全くの道樂であつて，最も尊ぶべき境地に於て研究して居られるのである。 人間の事だから生きて居る以上食はねばならず， 食ふ爲には相當の位置や相當の金も必要である事は，申すまでもない。所が學問をする， 本當に學問をすると云ふ事はかやうな方面にはあまり有利な方法ではない。 それよりは役に立つ法律でもやつて官吏になれば威張れるだらうし，實業家にでもなつてあの手この手でやれば巨富も積み得やう。 そんないやしい ― 社會はかゝる事に熱心な人間をいやしい人間と云ふ ―― 考は少しもなく蜘蛛の研究をやつて居られる方々は全く敬服に値するのである。之は皮肉でも何でもなく「學問は道樂なり」と斷定すれば當然得らるべき歸結である。

學問とは何か？ 近頃生物學は著しく進歩したと云ふ事は文に口に度々聞されて來た事であつて私もさうだなと思つてゐる。 今日の生物學研究室は十數年前の動物學研究室や植物學研究室とからりと様子が變つてゐる事はたしかで， 以前にはアルコホル漬や腊葉

の標本とミクロトームと顯微鏡と書物とがあつたに過ぎないのが. 今日は硝子の瓶や管や函が林立して居り，電池や針金が所狭きまで配置されて居ると云つた有樣である。論文にした所で種類，構造，分類，分布に就いて述べたものが，實驗の data の表，結果を plot した曲線，それにあてはめた數式と云ふやうなもので頁を占めてゐる。變化して居る事は確である。之を進歩と云ふのである。そして近代生物學をやつてゐると稱する或る人々は分類なんてものは學問じやないと云ふ。たゞ五體を通じて得た事を認識しただけじや學問じやない。かやうな結果はかやうな原因によつて起ると云ふ事又逆にかやうに變化すればかやうな結果が豫測せられると云ふ因果率の闡明が學問であると云ふ。蜘蛛を研究するにしてもたゞ野外で蜘蛛を採集して來て，これは何蜘蛛，あれは何蜘蛛と名を調べる。或は未發表のものであれば新種として名前を附けて發表する。或は又蜘蛛の胃はかくかくの形狀である。蛛疣は何通りあつて，どの線はどの疣から出て來ると云ふやうな事をやつてもそれは學問じやないと云ふ。何蜘蛛は何故に今日地球上に存在するか，蜘蛛の胃の形狀に種々あるのは如何なる事が原因か，蜘蛛の心臟の搏動は1秒間に何回であつて，溫度を上げ下げすると如何に變化するか，その data を曲線に描くと數式はどれに當はまるか。と云ふやうな事を研究しなければ學問でないと云ふ。卽ち學問は自然の存在や現象を說明するものでなくてはならぬ。所が同じ所に棲んで居る蜘蛛にも色々種類がある。何故1種しか居ないと云ふ事にならないのだらうか。溫度が上ると蜘蛛の活動が盛んになる。何故か？ その蜘蛛の原形質の活動がその溫度の時最も都合がよいからである。それで說明になつて居るであらうか。蜘蛛の消化腺にはこれこれの酵素があつたと云ふ事と，この蜘蛛の眼の配列はかくかくであると云ふ事とどこに一體違ひがあるのであらうか。生物學は進歩したと云ふけれども 取扱及材料の部分が變り，取扱方に變化が來ただけで，物理學者や化學者から見ればその極めて初步的な方法を借用して居るに過ぎないのであつて，今日著しく進歩したと云はれる物理學ですら少しも自然を說明して居ないので，かくかくの事實を記述 describe して見るに過ぎないと云ふ哲學的考察すら已に相當以前からあるのである。道樂なら何をやつて居たつて人の知つた事じやない。自分が面白くてたまらなければよいのではないか。魚屋の八さんが浪花節をうなつて居るのを低級だなど輕蔑するお邸のお孃さんの聲樂とやらが何故高級なのであらうか。テクニックの複雜や困難で高低は決められまい。道樂に學問をやつて居るのはアマチュアだとよく云はれる。學問をやるのに黑人や素人もあるものじやない。尤も學問みたいなものを賣つて飯の種にして居る人間を黑人と云ふのならこれは別問題だけれども。